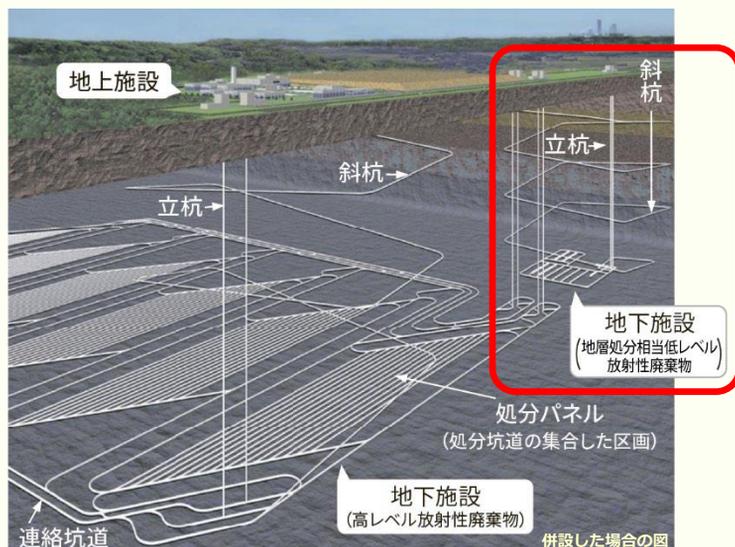


## 低レベル放射性廃棄物の一部もNUMOが地層処分します

最終処分法<sup>※1</sup>では、高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）のほか、低レベル放射性廃棄物の一部についても、NUMOが地表から300m以上深い安定した岩盤に地層処分するよう定められています。この廃棄物を「地層処分相当低レベル放射性廃棄物<sup>※2</sup> (TRU<sup>※3</sup>廃棄物)」といいます。



※1 最終処分法：正式名称は「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」

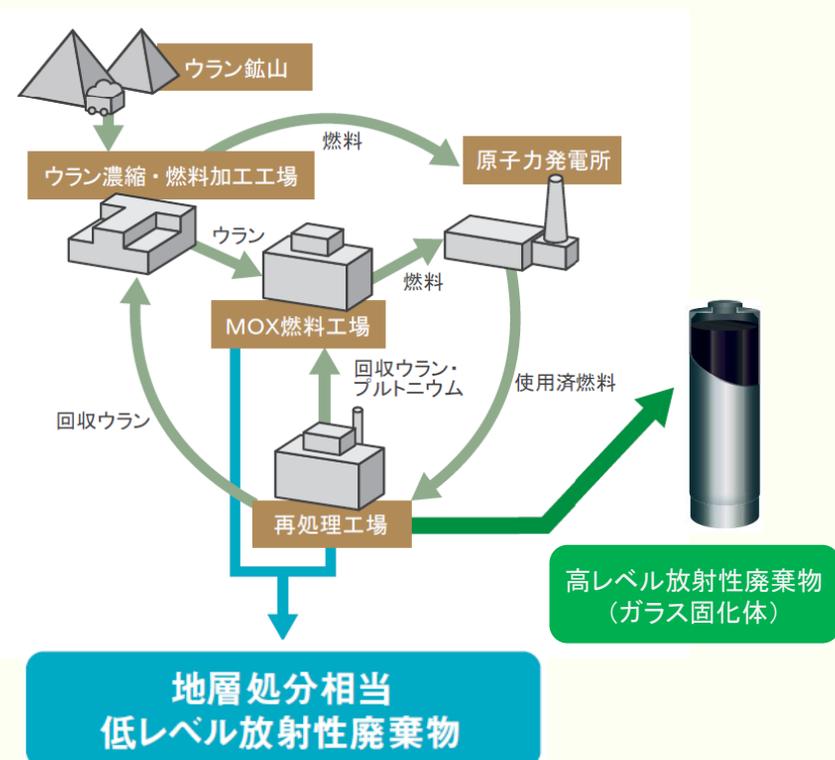
※2 地層処分相当低レベル放射性廃棄物：低レベル放射性廃棄物のうち、半減期の長い核種を一定以上含む廃棄物

※3 TRU：TRans Uranium（ウランより原子番号が大きいものを指す）の頭文字

## どこで発生するの？

エネルギー資源に乏しい日本では、ウラン資源を有効活用するため、原子力発電で使い終えた燃料を再処理してウランやプルトニウムを取り出し、再び燃料として利用する「原子燃料サイクル」を進めています。「地層処分相当低レベル放射性廃棄物<sup>※</sup> (TRU廃棄物)」は、再処理工場やMOX燃料工場の操業・解体に伴って発生する低レベル放射性廃棄物の一部です。

### 原子燃料サイクルと地層処分相当低レベル放射性廃棄物

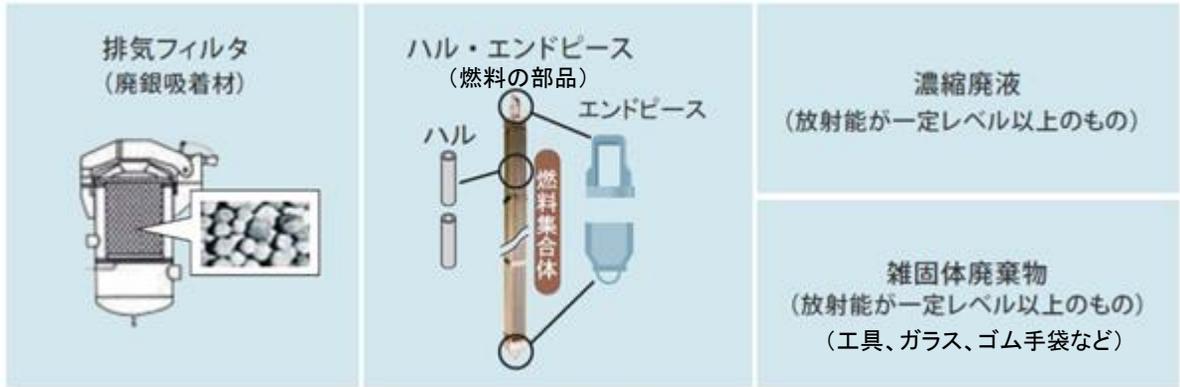


※ MOX燃料：再処理によって回収されたプルトニウムとウランを混合して作られる酸化燃料 (Mixed Oxideの略)

## 具体的にどのようなもの？

高レベル放射性廃棄物と比較して放射能レベルが低く発熱量も小さいですが、半減期の長い核種を一定以上含むため、地層処分の対象となるものがあります。  
具体的には、以下のようなさまざまな廃棄物が発生する見込みです。

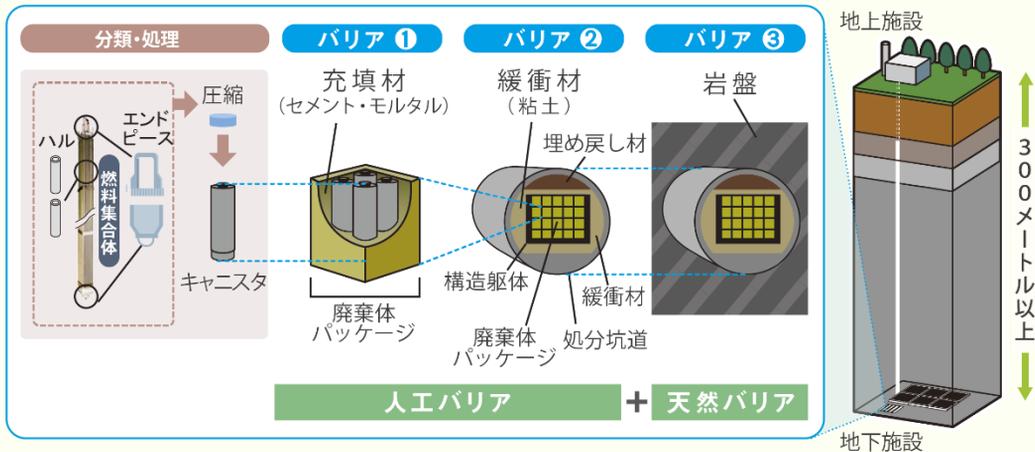
### 地層処分相当低レベル放射性廃棄物(TRL廃棄物)の例



## どのように処分する？

高レベル放射性廃棄物と同様に、人工バリアと天然バリア(岩盤)で放射性物質の移動を遅らせ、私たちの生活環境から長期間にわたり隔離し閉じ込めます。

### ハル・エンドピース(燃料の部品)の処分別



## ご紹介

より詳しい情報はこちらをご覧ください。

「地層処分相当低レベル放射性廃棄物」とは何ですか？



[https://www.numo.or.jp/q\\_and\\_a/faq/faq100006.html](https://www.numo.or.jp/q_and_a/faq/faq100006.html)

地層処分相当低レベル放射性廃棄物は、どのように処分するのですか？



[https://www.numo.or.jp/q\\_and\\_a/faq/faq100014.html](https://www.numo.or.jp/q_and_a/faq/faq100014.html)

地層処分安全確保の考え方(A4版)



[https://www.numo.or.jp/kagakutekitokusei\\_map/pdf/anzen\\_a4.pdf](https://www.numo.or.jp/kagakutekitokusei_map/pdf/anzen_a4.pdf)